



神功小だより

令和2年度 第11号
令和2年12月23日 発行
文責 福西正剛

《2020年を振り返って》

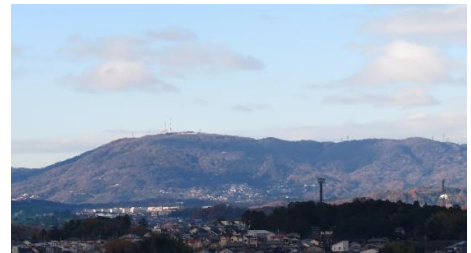
保護者の皆様、おかげさまで、本日無事に2学期の終業式を終え、2020年を締めくくることができました。

さて、先日一年の世相を表す「今年の漢字」に「密」が選ばれました。新型コロナウイルス関連で最も多く使われた言葉の一つだったと思います。

学校においても、昨年度末の臨時休業から始まり、参加者を絞った卒業式、本年度については、参加人数を絞っての入学式や分散登校、学校行事の中止、短い夏休み、Chromebookの導入など、新型コロナの影響で従来と違った経験をしてきました。当たり前が当たり前でない時代を象徴するかのような年でした。

一方で、子どもたちは手洗いやマスクの着用などの感染症対策を意識しながら、与えられた環境のなかでしっかりと学習や遊びに取り組んでくれました。大人でさえ大変だったこの時期をたくましく乗り越えてくれた子どもたちの頑張りに敬意を表したいと思います。

そして、子どもたちを温かく見守っていただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。来年も引き続きよろしくお願いいたします。



【冬至の日、朝日が当たる生駒山】

《安心して学びを進めるために》



子どもたちには、『自ら進んで行動できるようになってほしい』と願っていますが、私たち大人が期待するようにはいきません。なぜなら、子どもたちはまだまだ未熟であると同時に、いろんな経験を通して失敗もしながら成長する時期にあるからです。だからこそ、子どもたちを後押しする環境や要素には次のようなことがあります。

1. 学習の環境としては、落ち着いて生活できる教室、思いっきり身体を動かして遊ぶ場所、本を読んだり、おしゃべりしたりできる場所、学習に必要な鉛筆やノートなども必要です。そして、今年貸与されたChromebookは子どもたちの主体的な学びにはなくてはならないツールになっていくのだと思います。
2. また、子どもたち同士、先生との関わりも重要です。お家では許されることも、学校という小さな社会では、通用しなかったり、誰かと誰かの板挟みになったりすることはよくあることです。時にはケンカをすることも…。その際、教師はそれぞれの言い分や思いに耳を傾けながら指導しますが、場合によっては、子どもたちに任せて自分たちで解決させることもします。とても大切な経験です。
3. そして、子どもたちを学校に送り出していただく家族の存在です。家庭での習慣は大切に、夜遅くまで起きていたり、朝食をとらないで登校したりすると、朝から気力がわかず、学習に集中できないことがあります。もし習慣が身につけていないのなら、ぜひ、『新年の抱負』として取り組んでほしいと思います。
4. さらに、ご家族の関わりは、子どもの心を安定させ、子どもを後押ししたり、勇気を奮い立たせたりすることもよくあります。



【子どもたちの学び舎】

裏面をご覧ください。

《神功アート展》

12月5日(月)からの週に個人懇談の機会を持たせていただきました。短時間ではありましたが、お時間をとっていただきありがとうございました。

この懇談会にあわせて『神功アート展』として廊下にお子様の作品を掲示させていただきました。お子様の作品に成長を感じられた方も多かったのではないのでしょうか。

【作品の一部を紹介します。】



《かけがえのない命をどう守るか》

今月、奈良市内の中学生の大切な命が失われました。未来ある子どものかけがえのない命が断たれるほど辛いことはありません。

親であれば、我が子が病気やケガをすれば、できれば代わってやりたいと思ったり、夜遅くまで受験勉強をしていれば、何もできないのに一緒に起きていたり、我が子には元気にいてほしいと願います。

今、子どもたちを取り巻く環境には通信機器を広がりとともに、情報で満ち溢れています。また、自分の情報がさらされるかというストレスを感じる時代にもなってきました。

先日、6年生を対象に薬物乱用防止教室を実施しました。事前の打ち合わせで講師の先生から、今年の犯罪白書(法務省)では大麻で検挙される少年の数が前年から4割以上増えていることを伺いました。薬物が子どもたちにとって身近なものになりつつあるのかもしれない。

薬物乱用防止教室では、薬物の怖さや依存性が強いこと、そして入り口となる誘いを断る勇気を持つことが大切であることを教わりました。

～七転び八起き～

『七転び八起き』の意味を調べると「何回失敗しても、それに負けず、また勇気を奮い起こすこと」とあります。子どもたちは学校で失敗と成功を繰り返しながら成長していきます。失敗を恐れずチャレンジする子、そして、失敗しても再チャレンジする子に育ててほしいと思います。



《子どもたちと学校を支えてくださっているすべての皆様へ》

子どもたちが地域で安全に過ごせるのは、たくさんの方から見守られているという安心感があるからだと思います。

いつも学校の周辺をきれいにお掃除してくださっている方々、子どもたちの登下校の見守りをいただいている方々、子どもたちの放課後や休みの日に遊びや学びの場を提供いただいている方々、本当にありがとうございました。

2021年が、素晴らしい年でありますように心からお祈り申し上げます。